

令和3年9月16日

デジタル交通サービス「のりまっし金沢」 実証実験を開始します！

金沢 MaaS コンソーシアムは、プロジェクトの第一弾として、Web アプリ「デジタル交通サービス『のりまっし金沢』」を10月中旬に稼働させ、現在、紙券で販売されているバスの金沢市内一日フリー乗車券のデジタル化による利便性向上を図るための実証実験を開始します。デジタル化でより身近になるバスをぜひご利用ください。

[トップページ]



[乗車券提示画面]



※アプリ画面は、現在開発中のイメージであり、
今後変更することがあります。

1. 主なサービス内容

- ・Web アプリ「のりまっし金沢」で金沢市内1日フリー乗車券を購入し、スマートフォンを提示することでチケットレス乗降が可能
- ・いつでも（時間）・どこでも（場所）キャッシュレスで購入可能
- ・人数分の乗車券を一括購入し、利用が可能

2. 期待される効果

利用のたびに運賃・料金を支払うことなく、繰り返しの利用において決済の手間や追加費用の不安がない定額制サービス（サブスクリプション）の利用スタイルを提案し、公共交通の利用拡大を目指します。

3. 購入方法・利用方法

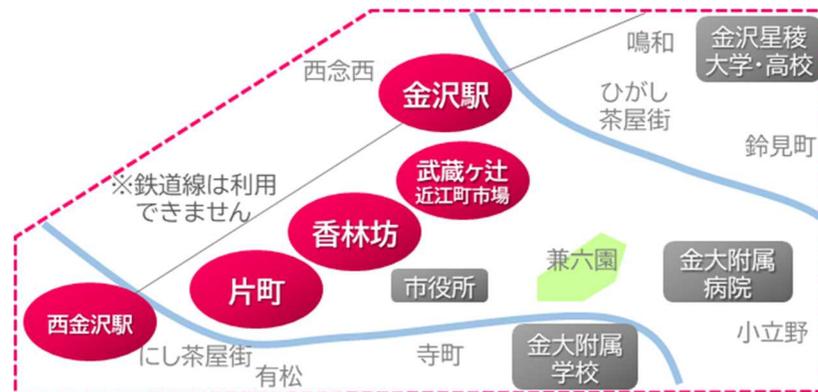
- ・アプリに利用者情報を登録し、クレジットカード決済で購入
- ・降車時にデジタル乗車券をバス乗務員に提示

【金沢市内1日フリー乗車券の概要】

利用料金：おとな600円 こども300円

利用可能バス：北陸鉄道グループ・西日本JRバスの路線バス、
金沢ふらっとバス、城下まち金沢周遊バス

利用可能範囲：地帯制運賃の指定エリア内



利用特典：対象文化施設に割引料金で入場可能

参考

「のりまっし金沢」は、「～してください」という意味の金沢弁に由来し、気軽に公共交通に乗ってお出かけいただきたいという想いを込めて命名したものです。

【問い合わせ先】

金沢MaaSコンソーシアムについて：金沢市交通政策課（TEL：076-220-2038）

金沢市内1日フリー乗車券について：北陸鉄道(株)企画開発部（TEL：076-237-8113）

金沢MaaSコンソーシアムとは

■ 設立の経緯

多様な移動手段による移動と、移動の目的である買い物などの多分野のサービスがシームレスに提供される環境を整備し、市民等が便利・自由・快適に移動できるまちづくりを官民連携で進めるため、金沢市長が発起人となり、市内の広域的・日常的な移動の多くを担う交通事業者とともに、令和3年8月に「金沢MaaSコンソーシアム」を設立したものです。

■ 今後の活動方針

今年度のプロジェクトの第一弾として、時間や場所を問わずに購入できる市内一日フリー乗車券のデジタル化の実証実験を行います(デジタル交通サービス「のりまっし金沢」)。

また、年末頃を目途に、様々な業界の事業者等にコンソーシアムへの参画を呼び掛け、相互に協力して様々な課題解決のためのプロジェクトを順次実施する予定です。

■ 構成メンバー (令和3年9月16日時点)

正会員

交通事業者	IR いしかわ鉄道株式会社 西日本旅客鉄道株式会社 西日本ジェイアールバス株式会社 北陸鉄道株式会社
行政機関	金沢市

オブザーバー

国土交通省	北陸地方整備局金沢河川国道事務所 北陸信越運輸局石川運輸支局
-------	-----------------------------------